

◆地域活動

漁業後継者・指導者育成講座(宮古地区)

宮古農林水産振興センター 津波古竜器・吉田聡

1. 目的

伊良部島佐良浜地区はパヤオ漁などの漁船漁業を中心に宮古地域の中でも特に漁業の盛んな地区として知られており、地元の学校教育でも漁業が重要な地場産業として取り上げられている。しかし、漁業後継者候補である生徒やその指導者である教員も実際に漁業や魚に間近に触れる機会が少なく、地域漁業が理解されているとは言い難い状況にある。

そこで、地元の小学生とその指導を行う教員を対象に、地域漁業や魚食に対する理解を深める場（機会）の創出を行う。

2. 活動内容

沖縄県漁業士会宮古支部所属の漁業士および伊良部漁業協同組合と連携し、平成28年7月19日と平成28年7月22日に漁業後継者・指導者育成講座を実施した。

7月19日は佐良浜小学校の5、6年生を対象に宮古島近海のパヤオで漁獲された新鮮なカツオを用いて、魚さばき体験を行った。生徒の中には魚を触るのも初めてという子も多かったが、漁業士や漁協職員の丁寧な指導の下で魚さばきに熱心に取り組んでいた。7月22日は佐良浜小学校の教職員らを対象に、水産業普及指導員による座学講座と漁業士による魚さばき体験を行った。座学講座では沖縄県の漁業や宮古地域の漁業について、グラフや写真での解説のほか、クイズ等も交えて講義を行った。魚さばき体験では魚を丸ごと一尾さばいた経験のある方が少なく、当初は苦戦していたが、漁業士や漁協職員の指導の下で最後は綺麗な柵どりまで行えるようになった。本活動は地元マスコミにも大きく取り上げら

れ、漁業士制度や地域漁業について広く市民に知っていただく良い機会となった。

4. 課題および今後の取り組み

魚さばき体験では、指導する漁業士や漁協職員ごとに魚をさばく方法が異なっていたため生徒や教員が混乱した面があったことから、方法を統一したり、マニュアルや図説を事前に用意する等を検討したい。活動自体は生徒、教員から非常に好評であり、次年度以降も継続して行う予定である。



教員向けの座学講座



魚さばき指導を行う漁業士